特集2

研究者が育つ過程
海外にはばたく研究者になるために

特集1では，博士論文執筆のさまざまな経験を通して，問いのありようが示されました。

では博士を取得し，次なる選択肢をどうとるのか。さまざまな道があると思います。

特集2では，研究者として歩んでいく道の1つのモデルとして，日本学術振興会の特別研究員制度を取り上げます。本制度の概要や看護学における申請・取得状況と今後の展開を踏まえ，この制度を用いて海外に留学し，充実した研究者生活を送られている経験を紹介します。こうした経験を得るには，研究者自身のたゆまぬ研鑽とともに，指導教員のサポートが不可欠です。海外にはばたく研究者を育成するために，指導者として，そして看護学として何が必要かを考えます。

『看護研究』編集室

©IGAKU-SHOIN Ltd, 2014

2026/10/14 09:56:33